

9

3)

(3) 厚木及び横浜にありし米屋、進駐関係

重要内容目次

1. 總理大臣より厚木連絡委員長有末中將に於ける訓令案

二〇八二三

2. 厚木連絡委員会編成要領案

3. 厚木及び横浜における連絡機関に関する件(閣議報告書)

二〇八三七

4. 横浜連絡委員長鶴見調査官に於ける訓令案

5. 連合軍厚木到着状況

二〇八三〇
司令部到着

6. 基地概況報告関係

厚木連絡委員長陸軍中將有末精三
與フル調令(案)

陸軍中將 有末 精三

(三〇八二五)

貴官へ各委員ヲ指揮シ厚木ニ位置シ八月二十五日ヨリ業務ヲ開始シ
聯合國軍ニ對シ主トシテ第一次撤退地域ニ於ケル諸情報ヲ提供シテ
第一次撤退準備ヲ容易ナラシムルト共ニ其要求スヘキ施設ニ關スル
厚木地區ノ基地整備、宿營及給養等ノ實施及之ニ附隨スル案内及接
待的業務ヲ擔任スヘシ
尙書館、治安維持ニ關係アル事項ニ關シテハ現地警備擔任指揮官ノ
指揮ヲ承クルモノトス

年 月 日

内閣總理大臣

外務省

記帳不要
連合軍の進駐移駐に係

厚木連絡委員會編成要領(案)

一、設置ノ目的

主トシテ第一次撤退地域ニ於ケル諸設備ニ關スル情報ヲ提供シテ
第一次撤退準備ヲ容易ナラシムルト共ニ要求スヘキ施設ニ關スル
基地整備、宿營及給養等ノ實施ヲ處理スルヲ以テ目的トスルモ之
ニ附隨スル案内及接待的事項ヲ擔任ス

「許」聯合軍ノ要求事項ノ大要左ノ如シ

- 1、先遣隊ノ任務進行上有ユル好意、便宜
- 2、第一次撤退地域ノ設備ノ爲先遣隊長ノ要求スル情報提供
- 3、通譯、案内人ノ準備及之ニ必要ナル自動車ノ準備
- 4、第三文書別紙Aノ要求事項處理

三委員ノ編成左ノ如シ

委員長	陸軍	一名
委員	陸軍	八名

外務省

註記
照会案
A:1.0.0-1-2
A:1.0.0-2

本編成ハ情況ニ依リ増減スルコトアリ

馬動務要領

1、本委員會ハ現地ニ於テ委員長之ヲ指揮シ第一條ノ處理ニ任ス但事務的處理ハ夫々主務省ニ於テ實施ス警備、治安維持ニ關係アル事項ニ關シテハ現地警備擔任指揮官ノ指揮ヲ承クルモノト

海軍	大名
外務	局長級以下二乃至三名
内務	局長級以下二乃至三名
軍備	神奈川縣二乃至三名
運輸	局長級以下一乃至二名
農商	同 右
大藏	同 右
逓信院	局長級一名
	同 右

外務省

ス尙警備進行ヲ圖情ナラシムル爲本期トシテ現地警備擔任司令
部ト同所取務ス

2、委員所長ノ自動車及警備ハ委員所長ノ官車ニテ兼出スモノト
ス但先遣隊ニ附屬スヘキ自動車(運轉手含ム)ノ兼出ハ左ニ依

陸軍	乘用車	二
	バス	一
海軍	乘用車	二
	バス	一
内務	乘用車	一
	バス	一
計	乘用車	五
	バス	二
	官車	一五

外務省

通譯ハ外務省主擔任ニテ準備スルモノトス
其ノ他

- 1、業務開始ハ八月二十五日トス
- 2、本委員會ハ取敢ヘス先遣隊トノ折衝、第一次通譯準備ニ任スルモノトシ爾後ノ任務等ハ追テ定ム

外務省

續及軍水ニ於ケル連絡機關ニ關スル件

昭和九年八月二十日
陸軍省

帝國政府ノ聯合國最高司令部ニ對スル現地連絡機關及之ニ對スル者
ヲ系統ハ左ノ通りトス

一、軍水委員會ハ八月二十日聯合國最高司令部軍水通譯ヨリ發賣ヘシ
移動完了後所定ノ任務ニ當ルモノトシ聯合國最高司令部發賣ヘシ
移動完了後ハ軍水通譯機關ニ於テ軍水連絡委員會ノ任務ヲ繼續ス
ル發賣ニ於ケル聯合國最高司令部トノ連絡ニ關シテハ移動連絡中央
本部局ノ現地機關ヲシテ之ニ當ラセム有現地機關ニ對スル關係者
者ノ協力ハ別紙發賣連絡委員會ニ依リ之ヲ行フモノトス

二、發賣現地機關ノ連絡事務ハ左トシテ聯合國最高司令部ヨリ現地ニ
於テ要求スルコトアルヘキ關係者ニ關スル情報ノ提供、發賣及請
求等ノ連絡調整ニ當ル目的トスルモノトシ之ニ對スル現地及連絡事務
項ヲモ含ムモノトス

備考 發賣現地機關ノ連絡事務ハ左ノ如ク陸軍省職員ヨリ發賣セラル

外務省

2

新設臨時委員會編成要領(案) 附二〇、八、二七									
委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
外務	陸軍	海軍	內務	外務	運輸	農林	商工	大藏	逓信
一名	三名	三名	一名	六名	二名	一名	一名	一名	約一〇名

外務省

横濱班

鈴木九萬公使

吉岡範武參事官

武内時之助總領事

古内廣雄書記官

牛場信彦事務官

服部恒雄領事

菅良通譯官

大崎和平屬

稻吉日出藏書記生

稻垣光屬

厚木班

鶴見憲參事官

星文七事務官

大原與一郎

關原

福田

木村夏雄

齋藤吉之囑託

多田

匹田

横須賀班

高岡禎一郎(臨時)

西山昭事務官

關與吉(臨時)

古川靖屬

館山班

林安總領事

鈴木耕一事務官

番徹雄事務官

外山副領事

中川申一屬

九州班

伊藤隆治參事官

鈴木孝事務官

川畑塚夫書記生

岩田正一囑託

二階堂榮囑託

Handwritten notes and signatures in Japanese, including names like 木村夏雄, 齋藤吉之, and 多田, along with various dates and administrative markings.

朝鮮班

龜山 一 二 參事官
八木 正男 事務官

野口 大 二 書記官
外 一名

連合軍の進駐移駐の件

横濱連絡委員長外務省調査官鶴見憲ニ與フル訓令案

外務省調査官 鶴見 憲

貴官ハ各委員ヲ指揮シ横濱ニ位置シ八月三十日ヨリ業務ヲ開始シ聯
合國軍ニ對シ主トシテ聯合國軍總司令部ニ於ケル諸情報ヲ提供スル
ト共ニ其ノ要求スルコトアルベキ同總司令部區域ノ整備、宿營及給
養等ノ斡旋及之ニ附隨スル案内及接待的事項ヲ擔任スベシ

昭和二十年 月 日

内閣總理大臣

1100 2
平河 三

路為聯合先遣隊 厚本到着状況報告

昭和十八年八月

八月二十八日午後八時五分 聯合先遣隊 厚本一着隊到着 午後十一時五分

口述：先遣隊全員百四十名（内五十名ハ士官）到着アリ

先方要求事項中 先遣隊到着後直ニ行ハルハナシ情報、提供ハ正午以前

午後十時頃迄ノ間、七分科會ニ付テ行ヒタリ。問題トナラズニ是レノ通り

一 停着收容所、柳留所、問題ナシ

二 飛行場 先方ハ解明ナシ航空運送ニ依ル厚本飛行場、地図ヲ指シ、ミテ改メ

於テ滑走路、補給工事ヲ要求ス。 (厚本機場部隊會ニ着キヨリ)

三 通信 先方ハ「ラヂオ」受信施設ヲ要求シ、我々ハ五百ワットノモノヲ以テ

船中ヲ提送スルニト云ハルニ付、先方ハ「ラヂオ」ヲ以テ先方占領地、沿岸ヨリ

到着セシ後、(先方ハ)「ラヂオ」放送ヲ行フ心算ヲ有スルニ非ズヤト、印本ヲ受寄リ

更ニ「ラヂオ」ヲ以テ、横濱厚本間ノ電話施設(先方明瞭ニ會話シ得ル

モノ)ヲ要求ス。後者ニ同シハ通信施設ニ於テ施設情ナルニ、電線、設備

若シ状態不良ニテ先方ノ要求ヲ満足スルニ是ラズヤト、先方ハ

(通信施設改良ヲ要求)

四 港湾、道路 先方ニ於テ運搬モノ資料不足ヲ云フニ、二十九日一定時迄ニ再

提出ヲ要求セラル。先方ハ特定ノ要求モノ事項ハ、横濱港中、一万ト以上ノ船舶

ヲ繋留スルニ難シ、且夫水ノ下ノ、岩壁附近ノ時油設備、倉庫等ニ

体的改善ヲ、道路彌ヲ示シ、(距離、道路舗装状態ヲ記入セシ)

一 道路中、就中厚本ト横濱、基隆等ヲ結ブ各線、厚本ノ道路ニ付

線ニ同心ヲ示ス

二、先遣隊長、徳明、此、彼等、ハ、八、段、ノ、自、軍、ハ、厚、本、此、世、世、海、

通、迄、ヲ、理、当、ス、ト、云、フ、
(註) 計、算、ニ、依、リ、ハ、八、段、九、ヶ、師、ヲ、二、十、万、位、ノ、ト、云、フ、

是、概、ニ、一、ヶ、師、上、陸、ス、ト、ノ、情、報、ア、ル、由、。

三、マ、ソ、カ、ト、ナ、ル、ハ、八、月、三、十、日、厚、本、到、着、
(註) 計、算、ニ、依、リ、ハ、八、段、九、ヶ、師、ヲ、二、十、万、位、ノ、ト、云、フ、

ノ、上、直、ニ、横、隊、ニ、赴、ク、由、。同、行、ノ、兵、ハ、同、百、千、名、位、。三、十、日、一、日、各、攻、

一、千、名、也、横、隊、ニ、赴、ク、ト、ナ、ル、ト、云、フ、

四、全、般、的、ニ、先、遣、隊、百、五、十、名、ハ、分、レ、テ、松、ノ、能、平、的、十、七、名、大、佐、ニ、就、任、セ、ラ、レ、居、リ、

指、導、官、ヲ、十、名、大、佐、以下、飛行、補、給、通、信、道、路、港、湾、等、ノ、專、門、家、十、七、名、
(註) 計、算、ニ、依、リ、ハ、八、段、九、ヶ、師、ヲ、二、十、万、位、ノ、ト、云、フ、

夕、刻、迄、ニ、多、量、之、夜、間、着、陸、設、備、等、ヲ、施、設、シ、機、率、的、ニ、活、動、ヲ、開、始、ス、ト、云、フ、

厚、本、ニ、於、テ、ハ、情、勢、ヲ、把、握、シ、努、力、ス、居、レ、リ、

A-1-0-0-2

打撃の略

石子木連絡員の業務は大作吹調に進捗致し殆り得共
当地航空部隊は最後迄頑張る決心にてビラ迄散佈
せる強硬液液なりしに諸設備殆ど破壊され
設営に困難を感じ殆り内部の空気も微妙なる
ものあり

左記物品の^{可成り}使用に^{必要}なりしに付き^{参考}の^及室
を^ありて^予玉^カラン^其の^他適當の^向より^蒐集^せし^め
二十七日午^あ中^に当地に^到着^せし^むる^様に^配慮
あり^まく^右は^陸軍^側に^於て^担当^すべき^筋とは^思考
せら^るも^其小^にて^は実^際の^旨に^合は^さる^に付^きは^却
致^す次第^に有^らん^事あり^しに^付き^は却^致
致^す次第^に有^らん^事あり^しに^付き^は却^致

打撃の略

打撃の略

打撃の略

海軍

石子木連絡員

(原簿108号)

外務

八三〇 受信〇〇八七四〇〇

了〇八四五 一七四八

厚木連絡委員長

内外日
本通務局

作

總理大臣・陸軍次官・海軍次官・外務次官
逕通次官・終戰事務連絡委員長・東部軍管區參謀長
横濱連絡委員長

送

〇一〇七〇三

下聯合軍要求ニ基キ飛行場及總司令部地區全車輛ハ本三〇日〇六〇〇

先遣隊長ニ引渡ヲ完了セリ

ニ乗用車ハ要求ニ〇〇輛ニ對シニ陸貨車ハ四五〇輛ニ對シニ三輛ノ豫
備車ヲ附々「バス」其ノ他車輛ハ要求通り交付セリ。路上清掃機ハ

缺數ナルモ本件先遣隊長モ了承シアリ

三中央優秀乗用車一三輛ハ總司令部用ニ充當セリ

四運輸員中陸海軍人員參官及消防官ハ聯合軍運輸員到着ニ伴ヒ逐カ
還シシムル如ク措置ス

通一三六三

厚木

ES00

0022

A-100-2

第一三三〇六

「マツカーサー」一〇〇〇厚木着「四二五」横濱三向ヶ發。



三〇一七五〇

總理大臣。陸海軍大臣。次長。農林部。管區委員長。外務次官。逓送次官。終戦事務連絡委員長。

山住 委員長

内閣逓送局長

八三〇 電話一五〇九 丁一五三五 一七七六 作 概

外

0024

五、...シ車輛ノ全數ヲ掌握集結シシハ本朝未...ニシテ各方面ノ努力
ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表ス。

0023

終戰事務

紅

令

同一備忘局製(配付済)
秘書官
政務局第一課



警警備一第八一三號
昭和二十年八月三十日

警 視 總 監 吉 白

西山君()
岡崎終戰事務局長殿

厚木地區警備治安委員會開催

狀況=開云儿件報告

標記、件同地區=應援派遣云儿當應警備大隊
長、報告=依云其、狀況左記、通=有之候條參
考、造又報告(通報)便

A-1-0-0-2

一 開催日時
二十八日午後八時

一 出席者

日本側 陸海軍 有未中將 福留松由參謀

橫濱憲兵司令官、橫濱臨時憲兵司令官(藤原中將)

山往海軍大佐(厚木基地)

内務省 内務次官、藤原監査官、書記官云儿

課長(氏名不詳)

警察側 現任警務官、藤澤警察署長

聯合軍側 先發隊指揮官、云儿大佐他数名

一 會議內容

聯合軍側ヨリ云、其同アサ

(1) 厚木基地附近、民心、動向如何

(2) 厚木基地及神奈川県下一帶、警戒員、配備状況

聯合軍側、希望意見云、通

(1) 警察官、武装云、銃ヲ携帶云云儿口卜

表得レハ拳銃小銃輕機回銃ヲ以テ完全ニ武
裝セリトシキコト

○警戒警備ニ從事スル憲兵及保安隊ハ武裝
非ズト

右ニ依リ警察官カ現在小銃ヲ携帶シテラサレ点
ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セリ又警察官憲兵保安
隊ト見分カ方ニ就キテモ相當之ヲ在實測
ルノ様様ナリ

○神奈川縣警備司令部ハ
本日八八部隊ヨリ小銃約二〇〇挺ヲ搬出シ内
五六十挺ヲ厚木基地附近警戒ニ振向ケルコト
ナリ

○軍警備ニ付キテハ相當干涉アリタル模様ナリ
但シ警察側ニ對シテハ好意ヲ示シテモハ
日飛行場内外ノ各所ニ掲示セル第十一ABC
ナル之礼中神奈川縣厚木地區警備司令部ナリ
家ニ立テラレタルモノニ付現玉警務官ヨリ右司令
部ハ聯合軍ノ警戒警備ノ為配備セル警察官ノ最
高指揮本部ナルコト及掲示ニ對スル下級警察官
ノ憤慨ニ對シ慰撫シタル状況等ヲ總々説明シ
タル處該掲示ハ無効ナリト言明シ本日午前九時
撤去スルコトナリ

其ノ他参考事項

1. 聯合軍ハ日本警察官ヲ非常ニ信頼シテモ模様ナリ
2. 厚木基地及神奈川縣下一帶ノ警備状況ニ付キテ
ハ本日午後三時ヨリ日本側ヨリ資料ヲ持參再協議
ヲ為スコトナリ

3. 明日(時刻不明)マックスアリカノ厚木飛行場着陸
後横濱ニ赴ク豫定ニ付キ本日午前十一時ヨリ厚木

飛行場司令部委員室ニ於テ之ヲ警戒警備ノ打合
會ヲ開催スル豫定ナリ

4 警察官ハ委員室出入ノ場合佩劍ノ俵ニテ支障ナ
キモ陸海軍々人ハ武装ノ俵委員室ニ出席ヲ許
サレサル狀況ナリ

5 断片的ニレテ確定的ノモノニ非ズルモ横須賀市ニ
對シテ上陸軍ハ一箇師團約二万名ニテ其ノ内
黑人ニ〇〇名ヲ含ミテモノ、如シ之ガ輸送
機同ハ飛行機及軍艦ナルモノ、如ク飛行機ハ約
一〇〇機ノ模様ナリ

東部
第三部
第一隊
事務部
下
檢査
事務

聯合軍提供宿舎一覽表

九月三十日現在

番号	提供宿舎名	所在地	備考
一〇〇	旧大塚		
一〇四	日本海上		
一一二	徳永ビル		
一一五	松屋ビル(回廊)		
一一五	俣野ビル		
一二一	野澤(第一)		
一二四	松屋ビル(回廊)		
一三九	横濱信用		
一四一	第一相		
一四二	同和火災保險會社(事務所)		
一四三	銀行集會所		
一四五	郵船ビル		
一四六	成山商店		

一四九	三井信託横濱支店(同和火災保險會社)
一五二	大同生命
一六九	常盤ビル
一七二	進交會館(食肉統制組合)
一七四	帝國生命
一七八	記念會館
一八四	渡辺同族會社
一八五	株式會社石川屋朝田回漕店
一八六	石川組回漕店
一九三	三井ビル(半分)
一九五	日綿ビル
一九六	水山ビル
一九八	土屋合名會社
二〇四	船舶無線電信會社
二一〇	シイナル・ハクナー

西三
三
三
三

0028

二二一	市會館
二二三	武道場
二二四	野球場
二二七	互樂木莊
二二八	會同企業ビル
二二九	市立女子商業專門學校
二三〇	帝國ホテル
二三五	市立青年俱樂部
二三六	米國領事館
二三七	東東海運
二三八	石油會社
二三九	本町
二四一	城越商會
二四三	石油會社
二四四	市會館
二四八	横浜國民學校
二四九	市立女子專修學校
二五〇	山手女學校(厚)
二六一	市會館
二六二	鶴見健康操檢習
二六九	パシコ
二七〇	セントジョセフ女學校
二七一	一般病院分院
二七二	國際親善協會支部
二七三	元街國民學校
二七四	共立女學校
二七五	平樂國民學校
二八〇	横浜高等(三)國民學校(一)部
二八二	東洋石油工業專門學校
二八三	東國民學校

シイワイヤ	中區旭台五三
平田穂作	中區根岸港上
カールクライヤー	中區山手町二四四
カズエーエー	由良手町二四五
鶴見工業學校 (連島国民學校)	
私立横浜專門學校	
三菱ビル	
日本カーボン会社 横浜工場二階	
平沼國民學校	
貿易會館 三軒	
ナショナル銀行	
鶴見日本石油會社 (タンク)	
税關	
帝蚕ビル	
ライデンノサン社 宅十六軒	
白石炭港	山手町五丁目
杉浦 申渡 森	山手町三丁目
保同船會社	
東海船會社	
東海運送會社 船隻修理工場	
三信ビル	
神奈川煤貨物自動車運送組合	
明治製糖 (明治製糖本)	
神奈川國民學校	
ニキスビル	
日本造船會社 船塢 運物大部	
海運會社	
日本造船會社 船塢 運物大部	
海運會社	

聯合軍提供宿舎覽表(九二五十九二)

第二次

一三三	不二屋		
一五一	加藤興業		
一五六	神榮實業		
一六八	Y M C A		
一八二	江商ビル(川崎汽船)		
二二七	大倉海上火災		
二四六	日本生命ト其周圍ノ空地		
二五九	横濱倉庫統制株式會社		
二六〇	増田ビル(松尾鑛業)		
二六三	三菱商事		
二九二	日本勸業商券		

	大日本肥料會社 倉庫三棟		
	神奈川會館		
	日本鋼管鶴見造船所ノ寮		
	鶴見捕虜收容所		
	デイーゼル青年學校	川崎市下殿町	
	日本石油統制株式會社横濱油槽所 (旧日油)	鶴見大黒町	二階建及敷地
	全 (旧東宝)	全	二階建及敷地
	昭和産業	大黒町二三	
	保土ヶ谷ゴルフクラブ(本館)		
	日産自動車鶴見工場		事務所一棟及工場四棟ヲ除ク
	日かけ茶屋(葉山)		
	海濱ホテル(鎌倉)		

1127

停印 A-1-0-0-2

1、補充旅團 (Replacement Detachments) 及 (Factory teams) 等ノ決定

2、九月十二日頃報歌由及長崎ニ進駐ノ決定

3、九月十日頃空路大阪及關西ニ到

4、兩港ノ「ドロク」附近ニ食テ夫々二千名ヲ收容スヘキ便宜ヲ興ヘテレ度ニ向「ホット」ツォイター、シヤワリー」ヲ設備ス

5、日本政府ハ米國俘虜ノ能率的引揚ゲヲ完了スル爲メニ出

6、限リノ便宜ヲ興ヘテレ度向米人連絡將校 (Officers) ノ有

7、日程ニ從ヒテ鐵道ヨリ各港ニ送ラレモノトス

又收容所ヨリ列車迄、列車ヨリ港迄ノ自動車搬送ヲ供與セラレ度

外務省

1127

最高司令官代理
「ハロルドフエア」中佐

又收容所ヨリ列車迄、列車ヨリ港迄ノ自動車搬送ヲ供與セラレ度

外務省